

再 評 価 調 査 書

I 事業概要					
事業名	交通安全対策事業（自転車歩行者道設置工事）				
地区名	一般県道 一宮弥富線				
事業箇所	津島市西柳原町				
事業のあらまし	<p>当路線を含む地区は、名鉄津島駅を中心に津島警察署・簡易裁判所及び海部総合庁舎等の公共施設及び大型スーパーが集中しており、歩行者や自転車の往来が多い。しかしながら、現道には幅員1m未満の狭小な歩道しかなく、自動車交通量も多い道路であることから、歩行者等が非常に危険な状況となっている。</p> <p>このため、両側に幅員3.5mの自歩道を設けることにより、歩車分離を図り、自転車や歩行者の安全確保するものがある。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p><交通安全対策の強化></p> <p>①自転車及び歩行者の安全確保 ②バリアフリー化の推進 ③通学路の安全確保</p> <p>【副次目標】－</p>				
計画変更の推移		事業採択時(H19)	再評価時(H28)	変動要因の分析	
	事業期間	H19年度～H28年度	H19年度～H33年度	用地交渉の長期化による事業期間の延伸	
	事業費(億円)	4.4	4.4	変動なし	
	経費内訳	工事費	1.1	1.1	変動なし
		用補費	2.8	2.8	変動なし
		その他	0.5	0.5	変動なし
事業内容	自転車歩行者道設置 L=290m(550m) W=16.0m	自転車歩行者道設置 L=290m(550m) W=16.0m	変動なし		
II 評価					
① 必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>○本事業区間は、名鉄津島駅の東200mの所に位置し、周辺には公共施設（津島警察署、簡易裁判所、海部総合庁舎等）や大型商業施設が立地しており、歩行者・自転車・自動車の交通量が多いにもかかわらず、現道には幅員1m未満の歩道しかなく、歩行者等が非常に危険な状況となっている。</p> <p>○本事業区間はバリアフリー化の対象路線に位置づけられています。</p> <p>○本事業区間の一部は小学校の通学路に指定されており、交通弱者の安全性の確保が求められている。</p> <p>○事業採択時、死傷事故率は56.06件/億台キロ（H14-H18）、死傷事故件数は4件（H14-H18）発生していた。自動車交通量は、約13,000台/日（H17センサス）となっている。</p> <p>【再評価時の状況】</p> <p>○事業採択時の状況について、周辺状況、交通状況には大きな変化はない。</p> <p>○再評価時、死傷事故率は122.60件/億台キロ（H23-H26）、死傷事故件数は6件（H23-H26）である。</p> <p>○自動車交通量はほぼ横ばいの状況。（約13,000台/日（H17センサス）⇒約12,000台/日（H22センサス））</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>・周辺状況、交通状況に大きな変動はなく、歩行者・自転車の安全な通行の確保及びバリアフリー化の促進の必要性に大きな変化はみられない。</p>			

	判定	B	<p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。</p> <p>B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。</p> <p>C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。</p>																																								
		【理由】	・歩行者・自転車の安全な通行の確保及びバリアフリー化の促進の必要性に大きな変化がないため。																																								
② 事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	【事業計画及び実績】																																									
		事業計画及び実績																																									
			H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 計																																								
		工種区分	調査・設計	←→																																							
		用地補償	←→																																								
		工事	←→																																								
		事業費(億円)	当初計画	4.0	0.4																																						
			実績	2.4																																							
			今回計画	2.4	2.0																																						
		【進捗率】																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>進捗率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.29</td> <td>0.12</td> <td>40%</td> <td>0.29</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>4.0</td> <td>2.4</td> <td>60%</td> <td>4.4</td> <td>55%</td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>0.7</td> <td>0.6</td> <td>91%</td> <td>1.1</td> <td>58%</td> </tr> <tr> <td>用補費</td> <td>2.8</td> <td>1.4</td> <td>49%</td> <td>2.8</td> <td>49%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0.5</td> <td>0.4</td> <td>78%</td> <td>0.5</td> <td>78%</td> </tr> </tbody> </table>		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】	延長(km)	0.29	0.12	40%	0.29	40%	事業費(億円)	4.0	2.4	60%	4.4	55%	工事費	0.7	0.6	91%	1.1	58%	用補費	2.8	1.4	49%	2.8	49%	その他	0.5	0.4	78%	0.5	78%	
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																							
	計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】																																						
延長(km)	0.29	0.12	40%	0.29	40%																																						
事業費(億円)	4.0	2.4	60%	4.4	55%																																						
工事費	0.7	0.6	91%	1.1	58%																																						
用補費	2.8	1.4	49%	2.8	49%																																						
その他	0.5	0.4	78%	0.5	78%																																						
【施工済みの内容】																																											
	<ul style="list-style-type: none"> ・H19年度に設計調査を行い、H20年度から用地補償に着手。 ・H27年度末で、用地買収の進捗率は、面積ベースで63%、事業費ベースで49%完了。 ・用地取得できた箇所から工事を実施しており、H27年度末でL=115m(350m)の区間が施工済み。 																																										
2) 未着手又は長期化の理由		補償内容や代替地の選定などの用地交渉に時間を要したため、用地買収が長期化している。																																									
3) 今後の事業進捗の見込み	【阻害要因】	用地取得が難航していますが、地元及び津島市の自転車歩行者道設置の強い要望もあり、事業に反対でないことから、一定期間を要すれば用地取得できると考える。																																									
	【今後の見込み】	用地取得については、面積ベースで約63%、補償費を含めた金額ベースで約49%と進捗している。今後も引き続き用地交渉を進め、平成33年度の事業完了を目指す。																																									
判定	B	<p>A： これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。</p> <p>B： 次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまで事業長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○これまで事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 																																									

		C： 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。
		【理由】 用地交渉に時間を要することが想定されますが、引き続き用地交渉を進めることにより、平成33年度の事業完了が見込まれるため。
Ⅲ 対応方針		
	継続	中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容		
<p>■対象（事業完了後 年目） <input type="checkbox"/>対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区間における自転車及び歩行者の通行に係る安全性の改善状況 		